飯能市議会活動レポート Vol.3（令和６年１月号）

未来志向で
次の飯能へ

飯能市議会議員
関田なおこ × 武田一宏 による新感覚会派

ネクストはんのう

日頃より私たちの活動をご支援くださり、誠にありがとうございます。市民の皆さまと誠実に向き合い、「飯能に住んでよかった！」と思っていただけるような街づくりを共に進めてまいります。これからも応援よろしくお願いします。

関田なおこ・武田一宏

飯能市制施行70周年 ▶ その先のネクストへ

祝！
令和５年開催の記念事業の一部をご紹介

【写真上】記念式典にて友好都市提携 20 周年を迎える高萩市長と
【写真中】11 月 4 日、5 日に開催された飯能まつりのオープニング
【写真下】音楽を愛する市民により結成されたジャズバンド

飯能市は昭和 29 年 1 月 1 日に埼玉県下で 9 番目の市として誕生しました。昭和 31 年には吾野村・東吾野村・原市場村の 3 か村と合併、さらに平成 17 年 1 月には名栗村と合併し、埼玉県下で 3 番目に広い行政区域を有する市として発展してきました。本年、令和 6 年 1 月 1 日に市制施行 70 周年を迎えました。昨年は、先人への感謝と今後のさらなる市の発展を誓う機会とし、様々な記念事業を 1 年を通じて実施されました。飯能生まれの私たちも、その歴史の中の一員として今後も飯能市と共に歩んでまいりたいと思います。昭和、平成、令和と 70 年の間には様々な事があったことでしょう。ここ数年は、コロナ禍はもとより、気候変動、人口減少、技術革新と急激なスピードで変化しています。先が見えない時代だからこそ、自分自身の意思を持ちつつも、周りとの調和を大切にした前向きな社会にしたいですね。大好きな飯能を一緒に盛り上げて、この先もずっと続く飯能市にしていきましょう！

関田なおこの
一般質問ダイジェスト

令和５年９月定例会

埼玉版スーパーシティプロジェクト

【関田】後期高齢者の人口が全国で最も速いスピードで増えている埼玉県。持続可能なまちづくりの為の県の支援プロジェクト「埼玉版スーパーシティプロジェクト」には令和４年度の段階で県内２９市町村がエントリーしている。飯能市はどのように考えているか。

【答弁】令和６年度までに申請することを念頭に県と打ち合わせをしていたが、新井市長より「現在進めている事業をより良いものにしていく機会ともなり得るので１年でも早く踏み出すべき」との指示があり、今年度中のエントリーを目指すべく、県にスーパー・シティプロジェクト案提出し、協議を開始した。

【関田】このプロジェクトには『コンパクト』『スマート』『レジリエント』といった３つの要素を備えたまちづくりが必要とされている。それぞれの方向性は。

【答弁】「コンパクト」では市街地における「魅力的な地域の交流拠点の整備と居心地良く歩きたくなるまちづくり」を、「スマート」では「ICT・IoT 技術を活用した安心安全なまちづくり」を、「レジリエント」では「災害に強いまちづくり」を目的とする。このプロジェクトは取組の見直し追加が可能であるので、地域課題の状況等を踏まえ本市らしい夢のあるプロジェクトを作り上げていく。

子どもの居場所づくりについて

【関田】市内では、子どもを対象の中心とした「居場所づくり」が、各地域それぞれの特性を活かしながら展開されている。昨年度、令和５年３月議会に国の地方創生臨時交付金を活用した、子どもの居場所づくり事業として各団体へ事業継続支援金を 13 団体へ 5 万円ずつ給付。今後の経済的支援について伺う。

【答弁】子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、複雑かつ多様化しており、住み慣れた地域で安心して過ごせる「居場所づくり」を実践されている団体の皆様には、心から感謝する。今年度も効果的な経済的支援を前向きに検討する。

▶令和 5 年 12 月定例会にて、国庫補助金「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を利用し、各団体 5 万円 ×20 団体に給付が行われました。

▶関田が１期目より質していた、市による「子どもの居場所」の支援が実現いたしました。昨年より、市が主体となり市内団体の意見交換の場を設け、情報交換をしております。

その他

飯能を市民にとって誇れる町にするために、市外の方にはもっと魅力を知ってもらうための「シティプロモーション」について、こどもまんなか社会に向け、「産前・産後ケア」の重要性と伴走型支援のうち、経済支援をより産婦の状況に合わせた内容への見直しを、更には、これからうまく付き合っていくべき「生成 AI」に児童・生徒はどのように向き合うべきかを質問いたしました。

令和５年 12 月定例会

児童の放課後等の居場所

【関田】利用児童数の多い放課後児童クラブの改善を。適正人数は。

【答弁】県は 40 人以下、国・市は概ね 40 人以下と各ガイドラインで示されている。但し R5年 11 月に県放課後児童健全育成事業の補助要件が一部変更となり、適正人数を超えた場合は補助金が受けられない、との改正が。経過措置として補助要件を満たした計画書を提出、適正と判断されれば補助は継続。影響が出ないよう県と協議し対応。

【関田】経過措置期間の対応は。

【答弁】少子化も利用児童は増加。学校を含む公共施設等を利用し、国の補助事業対象のリースによる保育室の活用などを検討。適正人数に向け運営者と意思疎通を行い対応する。

【関田】放課後全児童向け事業として学校施設活用についての見解は。

【答弁】特別支援学級の設置、不登校対策としての居場所確保で教室は不足している状況。特別教室や長期休暇などの利用が考えられるも、教育活動に支障がないことが大前提。安全が確保されるか等の課題を踏まえ、運営者と合意形成をはかれば児童の居場所づくりが可能と考える。協議を重ね実現に向け検討する。

熊を含む鳥獣被害対策

【関田】柿の木に登っている熊の映像やアライグマが自宅

近くの柿の木に群がっているのを実際目撃した。柿や柚子の木など、収穫されず放置された果樹「放任果樹」は野生鳥獣を誘因する要因の一つであり適切に処理することが対策の一つ。所有者に理解を得ながら住民と協働で伐採、啓発している自治体がある。寄せ付けない対策として放任果樹の伐採の見解を伺う。

【答弁】鳥獣被害対策の三つの柱は「防除」「捕獲」「環境整備」。放任果樹の除去は「環境整備」に当たる。過疎化や高齢化によって、収穫されず放置された果樹が近年多くなっている実情でサルなどの恰好の餌となっている。少しずつだが、山間地域から伐採を進めている。この「環境整備」に今後ともご協力をお願いしたいと考える。

その他

「支障木伐採」として、個人では対応できない、行政管理地の草木の適正な管理について、空き家・空き地から越境した草木の伐採におけるルール変更（民法改正）は市民にとって有効であるのか？を質問しました。また、夏季休業から 10 月末にかけて「空調施設改修工事」を行った学校では、猛暑のなか冷房がない期間が。児童生徒、教員、業者の健康を考え工期の見直しを図ってはどうか、等の質問をいたしました。

毎日前進します！

様々な事業に参加をし、ご挨拶をさせていただきました。特に今年はコロナ感染症の影響も落ちつき、飯能市内は勿論、近隣地域でも様々な催しが開催され市議会へご案内いただいた催しには、可能な限り全て参加をさせていただきました。特に飯能市と友好交流都市である高萩市はコロナ感染症拡大前同様に交流をする事が出来、私も何度も高萩市に足を運ばせていただき、高萩市の皆様が飯能に来られた際などは議会を代表し丁寧にお出迎えをさせていただきました。まだまだ議員としてのキャリアが浅い私にとっては外の議会を知ることが出来、大変勉強となる一年になりました。2024 年もこの経験をフルに生かし、議会の活性化に努めて参ります。

2024 年も全力投球で挑みます！
武田一宏から皆さまへご挨拶

2023 年度は飯能市議会副議長の職をお預かりする事となりました。副議長任期中は凡例により一般質問を行う事が出来なくなってしまいましたが、議会の円滑な運営と議場の秩序保持に加藤議長と共に努めるほか、議長の代理として市議会を代表し

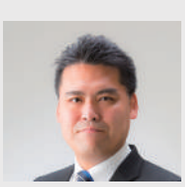
せきた
関田なおこ

私たちの飯能を守ります

昭和 49 年：飯能市原市場生まれ／平成 29 年：市議会議員選挙にて初当選（現在 2 期目）／議会運営副委員長・生活福祉委員長・広報委員・広域飯能斎場組合議会議員

会派代表

たけだかずひろ
武田一宏



飯能市議会最年少議員

昭和 57 年：飯能市柳町生まれ／令和 3 年：市議会議員選挙にて初当選／飯能市議会副議長・総務教育委員

ネクストはんのう市政報告会を開催

飯能市政の現在、未来への取り組みを関田と武田が皆さんへご報告いたします

会派ネクストはんのうまつり

新たな形の市政報告会として飯能市政に関する資料を展示し、参加者の皆さんが興味のある分野について、意見やアイデアを交わす、貴重な場となりました。

私たち「ネクストはんのう」は市内各地で積極的に市政報告会を開催してまいります。ぜひお気軽にご参加ください。

中学生限定のお話し会も開催しました

また、同じく 11 月 14 日には、もう一つの新たな取り組みとして、今を生きる中学生と学校生活や飯能の将来のことを一緒に考える場として、「県民の日特別企画・中学生限定お話し会」を開催。有意義な時間を過ごすことができました。私たちは中学生の子どもを持つ親として、子どもたちの思いもしっかりと聞き、子育て・若者政策にも取り組んでまいります。ぜひ、ご期待ください。

2023 年に開催した市政報告会

▼2月5日（日）
原市場地区行政センター、あすなろ会館（名栗）

▼11月14日（火）
前田自治会館（※参加対象：中学生限定で開催）

▼11月19日（日）
市民活動センター

これからの「ネクストはんのう」報告会について

ネクストはんのうの結成後から継続して開催してきた市政報告会は、私たちの話が多くなり市民の皆さんの「何気ない思い」を汲み取れていないと感じておりました。11 月 14 日の市政報告会より、これまでとは色合いを変え、多くの方に市政を身近に感じていただけるよう、この 1 年間において飯能市でどのようなことが行われてきたのかがわかる資料を並べ、展示会形式で実施いたしました。様々な資料を眺め「今まで知らなかった」新たな発見をされた市民の方もおられた様です。今後のネクストはんのう市政報告会のスタイル継続して取り入れて取り入れてまいります。

2024 年の市政報告会について

会派ネクストはんのう
ー 飯能市の今がわかる展示会 ー

■日　時：2 月 18 日（日）13:00 ～ 16:30
　　3 月 17 日（日）13:00 ～ 16:30
　　※第 3 日曜日の午後（毎月開催）
■会　場：市民活動センター会議室（まるひろ７階）
■内　容：市の資料等を見ながら様々な分野について一緒に考えていく内容となります
■その他：予約不要です。時間内のご都合のよろしい時にお越しください

＼皆さんの声をお寄せください／

ネクストはんのうの情報
nexthanno.net

ネクストはんのうの HP でも、今後の活動などを紹介していきますので、ぜひ、ご覧ください！

連絡先・発行者　飯能市議会会派：ネクストはんのう

この広報誌は政務活動費で作成しています

関田なおこ：岩沢 400-1 ☎090-8329-5791 ✉info@sekitanaoko.net
武田一宏　：柳町 5-15　☎090-8312-5731 ✉takedakazuhirokouenkai@gmail.com